出る順に学ぶ　頻出古文単語400　改訂版　（Ｎ会）

（　　年　　組　　番　　）〔　　点〕

【一】【訳】を参考にして、傍線部の現代語訳として適切なものを一つ選び、解答欄に番号を記入しなさい。

問一　住む館よりいでて、船に乗るべき所へ渡る。
【訳】住んでいる官舎から（　　）て、船に乗ることになっているところに行く。
①来　②離れ　③戻っ　④出　〔　　〕

問二　心得で、人をつけて見すれば、
【訳】納得できず、人に（　　）て見せると、
①同行させ　②尾行させ　③命令し　④指図し　〔　　〕

問三　かぐや姫、月を見ては、いみじく泣きたまふ。
【訳】かぐや姫は、月を見ては、（　　）お泣きになる。
①すぐ　②しばしば　③いつも　④たいそう　〔　　〕

問四　夢をうつつになすよしもがな
【訳】夢を現実にする（　　）があればなあ。
①魔法　②方法　③薬　④近道　〔　　〕

問五　明けゆく空もはしたなくて、とのへおはしぬ。
【訳】空が明けていくのも体裁が悪いので、（　　）にお帰りになった。
①お部屋　②寝室　③家　④お屋敷　〔　　〕

問六　まだむげにいはけなきほどに侍るめれば、
【訳】まだむやみに子どもっぽい（　　）でございますようなので、
①考え　②性格　③年齢　④体格　〔　　〕

問七　われ世にありし時は、娘どもをば女御・后とこそ思ひしか。
【訳】私が世の中で（　　）た時には、娘たちを女御・后に「立てよう」と思っていた。
①働いてい　②時めいてい　③治めてい　④今と同じでい　〔　　〕

問八　いとねんごろにいひける人に、今宵あはむと契りたりけるに、
【訳】たいそう心をこめて（　　）た人に、今夜会おうと約束したが、
①言い寄っ　②相談し　③言いなさっ　④うわさされてい　〔　　〕

問九　鏡には色、かたちなき故に、よろづのかげ来りてうつる。
【訳】鏡には、色や、（　　）がないからこそ、あらゆる物の姿が来て映るのだ。
①表裏　②形　③底　④中身　〔　　〕

問一〇　「その『やすら殿』は、をとこか法師か」と問はれて、
【訳】「その『やすら殿』は、（　　）か法師か」と尋ねられて、
①息子　②夫　③別れた主人　④出家していない男性　〔　　〕

【二】傍線部の現代語訳として適切な語句を、解答欄に記入しなさい。

問一　懈怠の心、みづからしらずといへども、師これをしる。
〔　　〕

問二　惟喬の親王、日ごろへて、宮に帰りたまうけり。
〔　　〕

問三　はかなき小柴垣もゆるあるさまにしなして、
〔　　〕